



「地域生物多様性増進法」について

令和8年2月18日

環境省自然環境計画課
地域ネイチャーポジティブ推進室

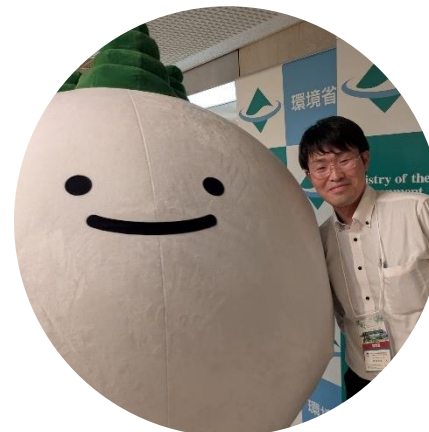
吉田 宗史



吉田 宗史 (よしだ ひろふみ)

岩手県出身・東北大学農学部海洋生物学系卒

2015年入省 一般職自然系 (レンジャー)



■これまでの経歴

2015年4月 関東地方環境事務所 **箱根**自然環境事務所 係員
富士箱根伊豆国立公園の管理

2017年4月 東北地方環境事務所 **大船渡**自然保護官事務所 自然保護官
三陸復興国立公園の管理 等

2019年4月 近畿地方環境事務所 **竹野**自然保護官事務所 自然保護官
山陰海岸国立公園の管理 等

2021年4月 **福島**地方環境事務所総務部企画課 復興調整係長
福島県浜通り地方の震災復興 等

2024年5月 北海道地方環境事務所 **釧路**自然環境事務所 世界自然遺産専門官
知床世界自然遺産地域の管理 等

2025年7月 現職

1. ネイチャーポジティブとは

ネイチャーポジティブとは

2022年12月 生物多様性条約第15回締約国会議 (CBD-COP15)

昆明・モンリオール生物多様性枠組

2030年ミッション

自然を回復軌道に乗せるために
生物多様性の損失を止め、反転させる
ための緊急の行動をとる



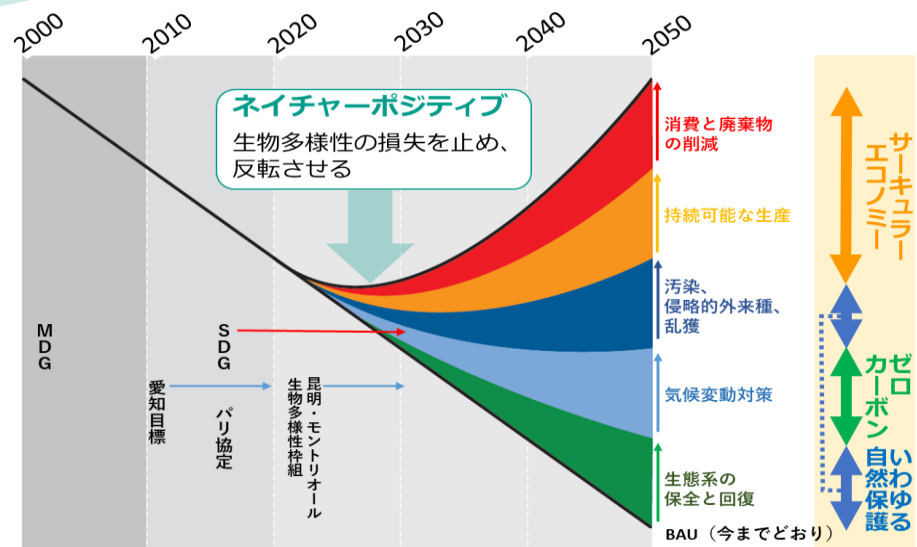
2050年ビジョン

自然と共生する世界

(a world of living in harmony with nature)

愛知目標から引き継いだ長期目標であり、
我が国で培われた知恵と伝統に基づく考え方

ネイチャーポジティブ（自然再興）の考え方



生物多様性の損失を減らし、回復させる行動の内訳
出典「地球規模生物多様性概況第5版（GB05）」を基に作成

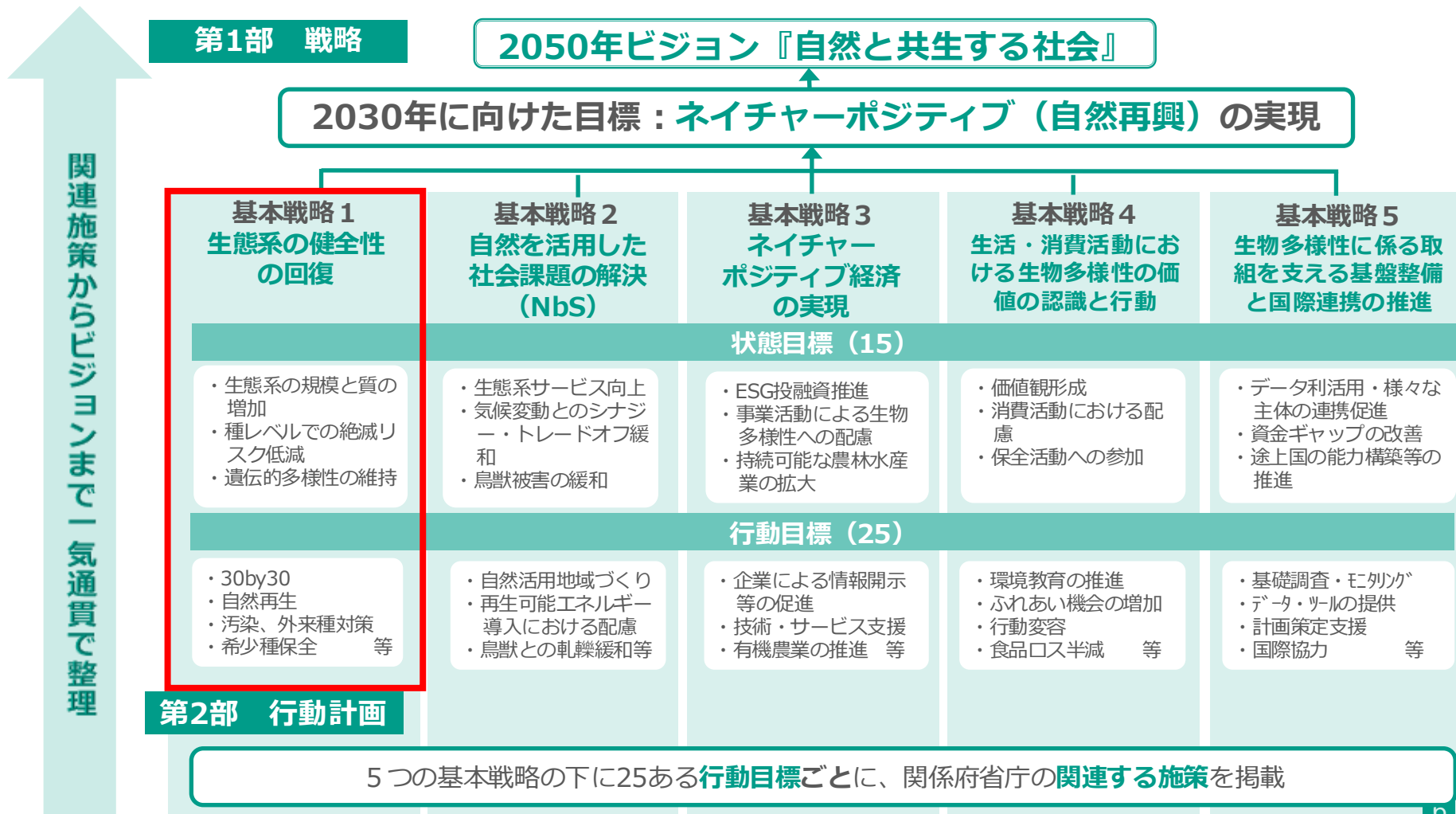
なぜネイチャーポジティブか？

社会経済の基盤



生物多様性国家戦略2023-2030

「2050年自然共生社会」「2030年ネイチャーポジティブ」の実現に向け、5つの基本戦略、基本戦略ごとの状態目標（あるべき姿）・行動目標（なすべき行動）、関連施策を各行動目標に紐づけることで、**戦略全体を一貫通貫**で整理するとともに、進捗状況を効果的に管理



2. 30by30目標と自然共生サイト

30by30目標

サーティ バイ サーティ

30 by 30

- 2030年までに陸と海の**30%以上**を保全する**新たな世界目標**



- 2022年の生物多様性条約COP15で採択された昆明・モントリオール生物多様性枠組に向けた議論の中で出てきた
- 保護地域と**OECD**を足し合わせたもの
⇒ 【保護地域以外】で、生物多様性保全に資する地域
- 日本は、現状、陸域の21.0%、海域の13.3%をカバー
- 「土地に紐づいた」「**具体的数値**」目標
(**健全な生態系の回復**、**豊かな恵み**を取り戻す、**気候変動緩和・適応**にも貢献)

30by30目標を達成するための主要施策5つ

①保護地域の拡張、管理の質の向上

②OECMの設定・管理

③生物多様性の重要性や保全活動効果の「見える化」

④生態系が繋がりが合い、健全に機能するための質を高める取組

⑤脱炭素、循環経済、有機農業、都市における緑地等の取組との連携

自然共生サイトに関する取組について

- ネイチャーポジティブの実現に向け、**民間等による活動を促進**することが重要。
- 環境省では令和5年度より、民間等の活動によって生物多様性の保全が図られている区域（森林、里地里山、都市の緑地、沿岸域等）を「**自然共生サイト**」として**認定**する制度を開始。令和6年度末までに328か所を認定。
- 認定された区域のうち、**保護地域との重複を除いた区域は「OECM（保護地域以外で生物多様性保全に資する地域）」**として国際データベースに登録。
- 自然共生サイト等の**ネイチャーポジティブ**に向けた民間等の活動をさらに促進するため、「**地域における生物の多様性の増進のための活動の促進等に関する法律（地域生物多様性増進法）**」を**本年4月1日に施行**。本年9月以降、法に基づく認定をし従来制度の下で認定したサイトも合わせ、計**485か所**が自然共生サイトとして認定されている（令和7年12月現在）。

<自然共生サイトの例>



盛岡セイコー工業 わくわくの森・わくわくトープ (岩手県)



荒沢湿原池沼群 (宮城県)



三井住友海上駿河台緑地 (東京都)



日本製紙 鳳凰社有林 (山梨県)



つくばこどもの森保育園 (茨城県)



山川の海のゆりかご (鹿児島県)

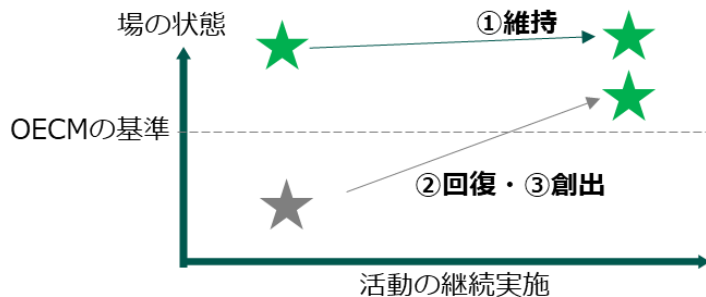
自然共生サイト認定証授与式 (9/30)



「自然共生サイト」制度と「地域生物多様性増進法」制度との違い

（新法の経緯・趣旨等）

- 新法は、自然共生サイトと生物多様性地域連携促進法の2つを大きな土台として再構築したもの。
- 自然共生サイトは「場所」を認定する制度としていたが、より幅広い取組を柔軟に促進するため、新法では、「活動」を認定する制度とした。



（新法のポイント）

- ①既に生物多様性が豊かな場所を**維持する活動**、②管理放棄地などにおける生物多様性を**回復する活動**、③開発跡地などにおける生物多様性を**創出する活動**を対象とした。
- ①については自然共生サイト相当の活動を想定しており、申請時点でOECMの基準を満たす生物多様性の価値を有する場所における活動となる。
- ②及び③については、活動計画の実施を通じて、将来的にOECMの基準を満たすような場所となるような取組を想定。

（自然共生サイトと新法の違い）

	自然共生サイト	地域生物多様性増進法
認定対象	民間等の取組によって生物多様性の保全が図られている区域	特定の場所に紐付いた民間等による生物多様性を増進する活動実施計画（増進活動実施計画及び連携増進活動実施計画）
認定範囲	現状で生物多様性が豊かな区域（生物多様性の価値基準に合致する区域）	現状で豊かな生物多様性を維持する活動、生物多様性を回復・創出する活動
認定者	環境大臣	環境大臣・農林水産大臣・国土交通大臣
事務局	請負事業者	独立行政法人環境再生保全機構
OECM	認定した区域は、保護地域との重複を除きOECMとして登録。	既に生物多様性が豊かな場所で生物多様性を維持する活動として認定を受けた場合は、その活動場所を、保護地域との重複を除きOECMとして登録。 生物多様性を回復・創出する活動として認定を受けた場合は、認定後における回復・創出活動の継続の結果、生物多様性の状態が豊かになった時点（生物多様性の価値基準に合致する時点）でOECMとして登録。

自然共生サイトの認定例（森林）

東急リゾートタウン蓼科
(長野県茅野市・東急不動産株式会社)



- ・ 森林/草原/沢等に希少種含む多様な動植物が確認
- ・ ゲレンデは毎年草刈りされ草原性の動植物が確認。

つなぐ森
(東京都奥多摩町・野村不動産ホールディングス株式会社)



- ・ 木材の地産地消と森林の機能回復を目指し、令和4年から町有林における森林管理を実施

奥びわ湖・山門水源の森
(滋賀県長浜市・山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会)



- ・ 地域の団体が20年以上保全してきた里山・湿原
- ・ 自治体、地元企業の支援も得ながら活動を継続

田島山業×みんなの森プロジェクト
(大分県日田市・田島山業株式会社)



- ・ 先祖代々継承している森林施業地で、CO2吸収、生物多様性保全、地域貢献等を目的に管理を実施

自然共生サイトの認定例（里地里山）

久保川イーハトーブ世界
(内、知勝院敷地内・自然再生実践地)
(岩手県一関市・久保川イーハトーブ自然再生協議会)



- ・ 落葉広葉樹林や湿地の保全再生、耕作放棄地におけるビオトープの創出、侵略的外来生物の防除等

モビリティリゾートもてぎ
(栃木県茂木町・本田技研工業株式会社)



- ・ 里地里山の森林整備、棚田の再生等を実施
- ・ ゲンゴロウ、サシバ等の希少種も確認

下田の杜
(千葉県柏市・NPO法人下田の杜里山フォーラム)



- ・ 周辺が宅地化する中、土地所有者・市・住民等が連携し、里山環境・文化を保全、環境教育の場に

八王子市長池公園
(東京都八王子市・NPO法人フュージョン長池)



- ・ 多摩丘陵の谷戸地形を都市公園として保全
- ・ 地域住民主体で里山を保全し、住民の憩いの場に

自然共生サイトの認定例（都市の緑地）



北海道大学札幌キャンパス
(北海道札幌市・国立大学法人北海道大学)

- ・ 管理方針を策定し、データ蓄積、保全策検討等を継続。
- ・ 461種の在来植物の他、多くの希少種を確認。



大手町タワー
(東京都千代田区・東京建物株式会社)

- ・ 土地の成り立ち等に関する調査を踏まえ、地域性種苗、在来種を使用した「本物の森」を創出



富士通沼津工場
(静岡県沼津市・富士通株式会社)

- ・ 工場敷地（約53 ha）の約80%を占める緑地
- ・ 自然林・茶畑等を維持し、地域イベントも実施



三井住友海上駿河台ビル及び駿河台新館
(東京都千代田区・三井住友海上火災保険株式会社)

- ・ 1984年の竣工当時から「周辺環境との調和」を掲げ、生態系ネットワークを意識した在来種中心の屋上緑地等を創出。

自然共生サイトの認定例（沿岸域）

関西国際空港島 人工護岸 藻場サイト (大阪府泉佐野市及び泉南市・関西エアポート株式会社)



- ・ 空港島護岸に緩傾斜石積みを採用し、**藻場を創出**
- ・ **66種の海藻類、28種の魚介類**を確認

吉崎海岸自然共生サイト

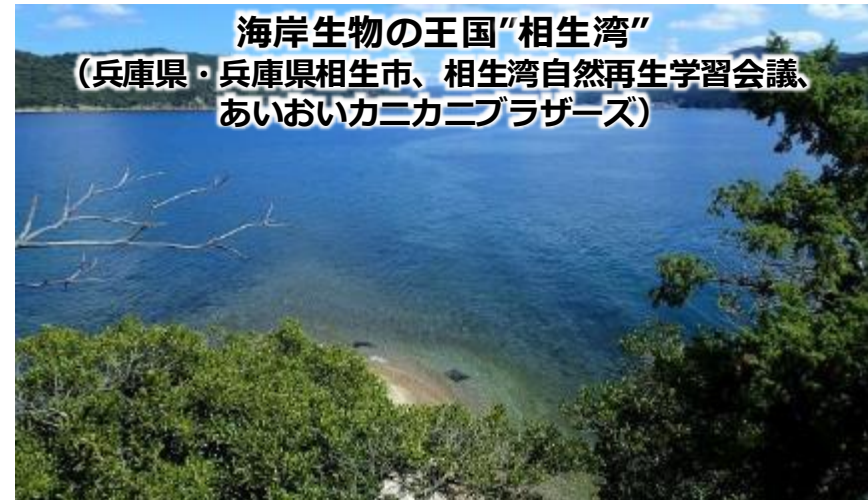
(三重県四日市市・四日市市/楠地区まちづくり検討委員会/NPO法人四日市ウミガメ保存会)



- ・ **アカウミガメの産卵場**であり、**希少動植物**も確認
- ・ **地域住民を中心に保全され、参加者・企業は増加**

海岸生物の王国“相生湾”

(兵庫県・兵庫県相生市、相生湾自然再生学習会議、あいおいカニカニブラザーズ)



- ・ **砂浜や干潟等に多種多様な生物**が生息
- ・ **兵庫県、市民団体等が協働**で保全活動を実施

山川の海のゆりかご

(鹿児島県・山川町漁業協同組合)



- ・ **地元漁協者が中心**となり、**藻場の生態系を再生**。
- ・ **漁業と気候変動対策、生物多様性保全の統合的向上**

『自然共生サイト』の認定基準

1. 境界・名称に関する基準
2. ガバナンスに関する基準
3. 生物多様性の価値に関する基準
4. 活動による保全効果に関する基準



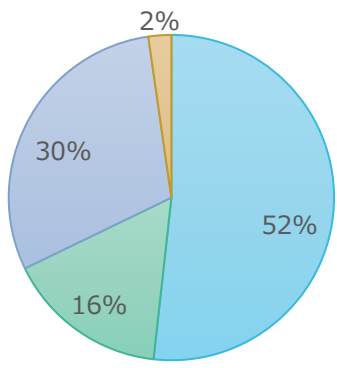
「生物多様性の価値に関する基準」の具体的内容

以下のいずれかの価値を有すること	
場	① 公的機関によって、生物多様性保全上の重要性が既に認められている場
	② 原生的な自然生態系が存する場
	③ 里地里山といった二次的な自然環境に特徴的な生態系が存する場
	④ 生態系サービス提供の場であって、在来種を中心とした多様な動植物種からなる健全な生態系が存する場
	⑤ 伝統工芸や伝統行事といった地域の伝統文化のために活用されている自然資源の供給の場
種	⑥ 希少な動植物種が生息生育している場あるいは生息生育している可能性が高い場
	⑦ 分布が限定されている、特異な環境へ依存するなど、その生態に特殊性のある種が生息生育している場又は生息生育の可能性が高い場
機能	⑧ 越冬、休息、繁殖、採餌、移動(渡り)など、動物の生活史にとって重要な場
	⑨ 既存の保護地域又は自然共生サイト認定区域に隣接する若しくはそれらを接続するなど、緩衝機能や連続性・連結性を高める機能を有する場

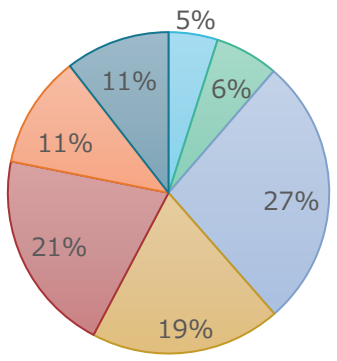
自然共生サイトの認定状況

< 従前及び法定自然共生サイトの内訳 >

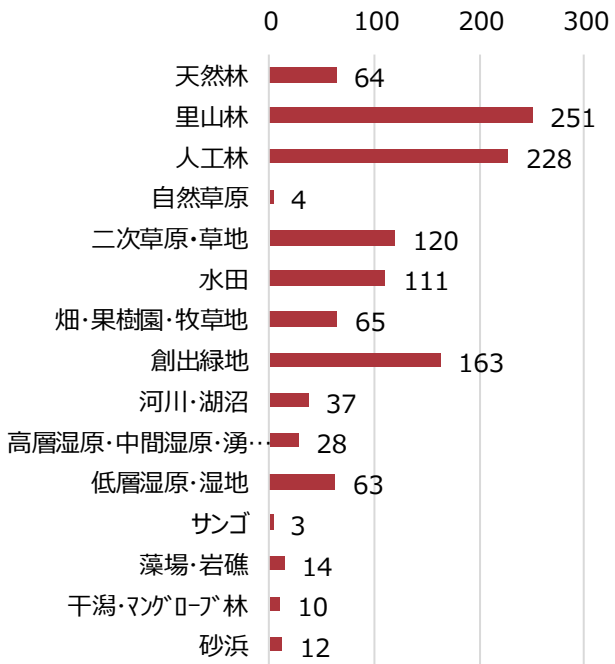
	従前の自然共生サイト（～令和6年度）		法定自然共生サイト（令和7年度～）	
	～令和6年度	令和7年度第1回	～令和6年度	令和7年度第1回
～令和6年度	328か所、9.3万ha		－	－
令和7年度第1回	(法定外226か所、8.5万ha)		(移行分81か所、0.7万ha)	新規120か所、0.6万ha
			計201か所、1.3万ha	
令和7年度第2回			(移行分21か所、0.1万ha)	新規37か所、0.6万ha
		計58か所、0.7万ha		
自然共生サイト合計	485か所、10.5万ha			



自然共生サイトの申請主体別内訳



自然共生サイトの地区別内訳



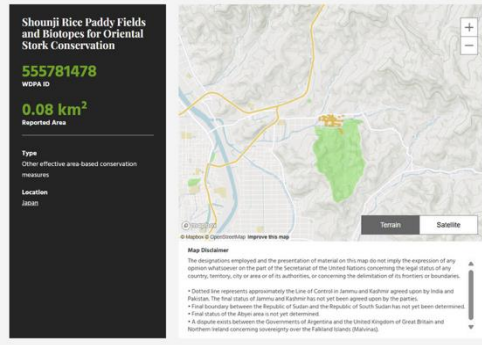
自然共生サイトの生態系タイプ別件数

※重複もあるため合計数は自然共生サイト合計と一致しない

自然共生サイトに認定されるとどうなるの？

◆ 30by30目標達成に貢献する

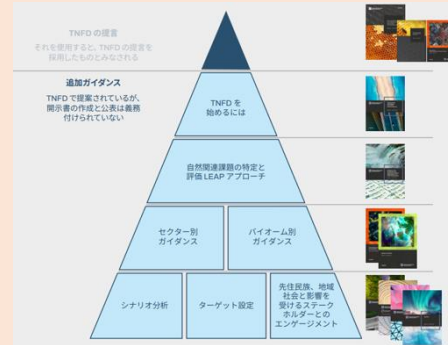
- 自然共生サイトの区域のうち保護地域との重複を除いた面積を国際OECMデータベースに登録。
- 行為規制を伴わず、生物多様性の価値がある場を公的に評価。



出典：Protected Planet

◆ 社会的な発信ができる（主に企業）

- 企業経営においても、自然資本への依存やリスクを評価し、生物多様性保全に積極的に取り組むことが求められている（TNFD開示等）。



TNFD情報開示
提言やガイダンスに沿って
TNFDレポートの作成

◆ 活動に対する支援を受けやすくなる

- 国による認定を受けることで、民間企業等からの支援を呼び込みやすくなる。
- 環境省で支援マッチング、企業へのインセンティブとなる支援証明書の発行も可能。
- 生物多様性保全推進支援事業（交付金）や各種モデル事業等公的支援も。

生物多様性地域戦略等の自治体の計画とも整合するとさらに効果大！



出典：兵庫県ウェブサイト

◆ 広告効果、ネットワーク形成

- ロゴマークの使用等により、国の認定を受けたことをPR。
- 生物多様性保全に対する社会の関心が高まるほど、社会的評価が高まることに期待。
- 自然共生サイト間のネットワーク形成も可能。



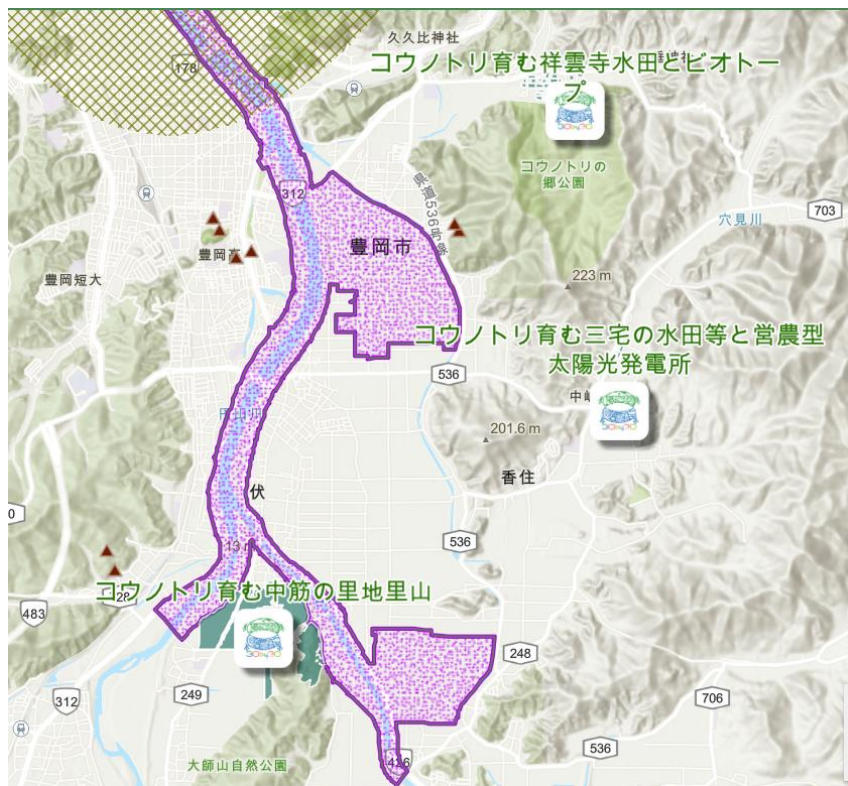
出典：横枕農園ウェブサイト



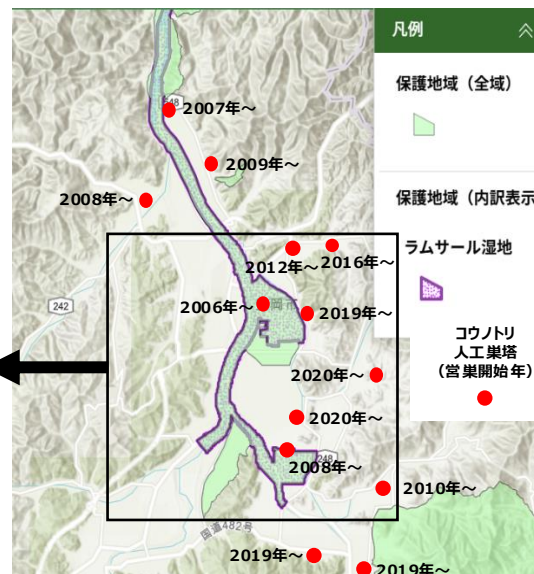
自然共生サイト検索ナビ

効果的な自然共生サイトの事例（豊岡市） ～サイト間連携・保護地域との連結・里山保全～

- 「コウノトリ育む」をキーワードに**主体の異なる3つの自然共生サイトが連携**して活動。
 - コウノトリ育む祥雲寺水田とビオトープ
(農事組合法人コウノトリの郷営農組合・兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科・兵庫県立コウノトリの郷公園)
 - コウノトリ育む三宅の水田等と営農型太陽光発電所
(株式会社坪口農事未来研究所／株式会社UPDATER／パタゴニア・インターナショナル・インク日本支社)
 - コウノトリ育む中筋の里地里山（豊岡市）
- **水田（里山）**をはじめ、コウノトリの生息に重要であるものの保護地域になっていなかったエリアを認定。**保護地域との連結**により、当地域の**生物多様性保全上重要なエリアが可視化**。



ラムサール湿地（保護地域）と自然共生サイトの位置関係



保護地域とコウノトリ人工巣塔の位置関係



コウノトリ育む祥雲寺水田とビオトープ



コウノトリ育む三宅の水田等と営農型太陽光発電所

保護地域だけではコウノトリの採餌に重要な水田等は必ずしもカバーしきれておらず、生物多様性保全上重要なエリアの実態と乖離があった。

⇒自然共生サイトにより空間的な連結が把握可能に！

自然共生サイト申請におけるポイント

申請書の書き方編

- 複数の生態系タイプがある場合は、
生態系タイプごとに特性・特徴・確認された種をまとめる

【確認された種】

〇〇バッタ、〇〇チョウ、〇〇チョウ、
〇〇トカゲ、〇〇カエル、〇〇トンボ…

どの環境で確認されたのかが
分からない！



自然共生サイト申請におけるポイント

申請書の書き方編

- 複数の生態系タイプがある場合は、生態系タイプごとに特性・特徴・確認された種をまとめる

【確認された種】

〇〇バツタ、〇〇チョウ、〇〇チョウ、〇〇トカゲ、〇〇カエル、〇〇トンボ…



【確認された種】

【草地エリア】

〇〇バツタ、〇〇チョウ…

【いこいの広場】

〇〇チョウ、〇〇トカゲ…

【池エリア】

〇〇カエル、〇〇トンボ…

どの環境で確認されたのかが分かる

申請書の書き方編

■ 在来種が中心であることが分かるリスト作り

→在来種と外来種を混ぜてリストを作らない。

外来種の場合は、備考欄などで外来種と記載する

考え方編

■ 周りの環境との相互作用

→似た環境が連続しているから動物の行き来がしやすい？
採餌場になっている？

周りに緑地などが無い場合は貴重な生息環境か？

→申請サイトがその場所においてどんな役割を担っている？

自然共生サイト申請におけるポイント

回復タイプ、創出タイプで大事なこと

- ① **ビジョン、目標がちゃんとあること、目標を達成する計画か**
(○年後にここまで生態系が回復している…と
マイルストーンはある?)
- ② **実力があるか、計画を実施できる体制が整っているか**
(専門家の意見を聞いている? 体制の中に分かっている人が
いる?)
- ③ **やる気があること**
(より良くしていきたいという気持ちを持つてる?)
- ④ **実際に活動しているか**
- ⑤ **他への波及効果** (社会的、地域的に波及していくか)

事務局 独立行政法人環境再生保全機構（ERCA）

ERCA自然共生サイト ホームページ

<https://www.erca.go.jp/nature/index.html>

各地方環境事務所

環境省本省

30by30アライアンスアドレス

30by30alliance@env.go.jp

困ったこと、分からないことがあったら
相談してください！



3. 自然共生サイトを支える仕組み

自然共生サイト等を支える仕組み

増進活動実施計画



自然共生サイト



☆ 計画策定や活動の基盤づくりをサポート

生物多様性保全推進支援事業（交付金）

- 活動実施計画等の作成援助（補助率1/2）
- 活動を効果的にするための調査や自走化のための支援（定額150万円まで）

保全活動 モニタリング

☆ 認定後の活動持続をサポート

支援マッチング

- 金銭的・人的・技術的支援を希望する企業等とのマッチング
- 支援をした企業等への支援証明書発行制度あり。

有識者マッチング

専門知識を有する有識者とのマッチング

☆ 地域づくりへの発展をサポート

各種モデル事業

- ネイチャーポジティブ地域づくり支援モデル事業
- 良好な環境を活用した観光モデル事業 等

地域活性 ネイチャー ポジティブ

☆ 保全状況の可視化、情報発信をサポート

生物多様性見える化システム

- 自然共生サイト等生物多様性保全上重要な地域をマップで「見える化」
- 各サイトの活動状況を発信

30by30アライアンス

メールマガジンによる情報発信

情報発信 ネットワーク

自然共生サイト等と支援を希望する方の“支援マッチング”

■環境省では、支援を必要とする「自然共生サイト」等と、それらの活動への支援を希望する方（企業等）とのマッチング促進を行うため、**環境省30by30ホームページ上に支援マッチングページを開設。**

■支援を求める自然共生サイト等だけでなく、支援が提供できる相手先を探している企業等も情報を掲載することができ、**双方向でのマッチングを促進**しています。

支援マッチングページ (30by30)



自然共生サイト等の情報掲載
38件
支援希望企業の情報掲載
12件

環境省Youtubeにおけるアピール動画の掲載



マッチングイベントの実施 (2025年10月27日)

昨年度のマッチングした方からの事例紹介、自然共生サイトからの支援募集プレゼン、企業からの支援提供プレゼンを実施。

自然共生サイト等の参加者
75者

支援希望者としての参加者
39者

マッチングイベントによりつながった事例
山崎製パン名古屋工場の商品販売による支援。売上金の一部がなごや東山の森の活動支援に寄附されるほか、従業員による人的な支援も行われる。



環境省 30by30ホームページ
<https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/>

(数値はいずれも2025.11末現在)

支援証明書制度の概要

- 自然共生サイトの質の維持・向上に資する支援をした企業等で、申請条件を満たした場合、環境省に「支援証明書」発行の申請ができる。
- **自然共生サイトの認定を目指す土地を保有しない企業も、ネイチャーポジティブに貢献する取組の実績を公的に証明することができる。**
- TNFD※等の情報開示への活用も念頭に制度設計を行い、今年度から本格運用を開始。

※TNFD：自然関連財務情報開示タスクフォース

自然（大気・生息地・土地・鉱物・海洋・土壌・生物種・水等）

維持・回復・創出 ↑↑↑

自然共生サイト

自然共生サイト認定

活動が生物多様性の保全に資することを国が認定

環境省

[R7より国土交通省
及び農林水産省も]

自然共生サイトに係る 支援証明書の発行

支援活動が生物多様性の保全に貢献したことを環境省が証明

環境省

生態系サービスを通じた
リスク軽減・機会創出の恩恵を得る

関心ポイント

投資家・金融機関

金銭的・人的・
技術的支援

直接的貢献

間接的貢献

企業等

支援証明書の概要 ～実際の発行事例～



環境省
Ministry of the Environment
証明書番号251-002

自然共生サイトに係る支援証明書

株式会社宮城衛生環境公社 様

支援サイト情報

サイト名称： 仙台市水道局青下水源涵養林
サイト所在地： 宮城県仙台市
サイト責任者： 宮城県仙台市

維持タイプ 回復タイプ 創出タイプ

支援内容に係る情報

支援数： 1つ ※複数支援の場合、2枚目以降に記載

支援に係る活動内容 健全な森林を育成し、良好な自然環境を保全することにより、土砂流出等の防備を図り、水源涵養機能を高め、豊富な水量と良質な水質の源水を確保するため、同サイトで「青下の杜プロジェクト」の推進により、仙台市と当社（宮城衛生環境公社）が連携して保全に取り組んでいる。

インプット 金銭的支援：1,860,000円（令和2～4年度930,000円、令和5～7年度930,000円）
人的支援：人員38人日
※支援証明書発行時点で1,860,000円中、1,550,000円確認

アクティビティ 青下の杜プロジェクトにて、間伐作業、植樹、周辺清掃

支援実施日（支援期間） 金銭的支援：令和2年4月1日～令和8年3月31日
人的支援：令和3年11月27日、令和4年6月11日、令和4年10月29日、令和5年5月27日、令和5年9月30日



支援サイト情報

サイト名称： 仙台市水道局青下水源涵養林
サイト所在地： 宮城県仙台市
サイト責任者： 宮城県仙台市

維持タイプ 回復タイプ 創出タイプ

支援内容に係る情報

支援数： 1つ ※複数支援の場合、2枚目以降に記載

支援に係る活動内容

健全な森林を育成し、良好な自然環境を保全することにより、土砂流出等の防備を図り、水源涵養機能を高め、豊富な水量と良質な水質の源水を確保するため、同サイトで「青下の杜プロジェクト」の推進により、仙台市と当社（宮城衛生環境公社）が連携して保全に取り組んでいる。

インプット

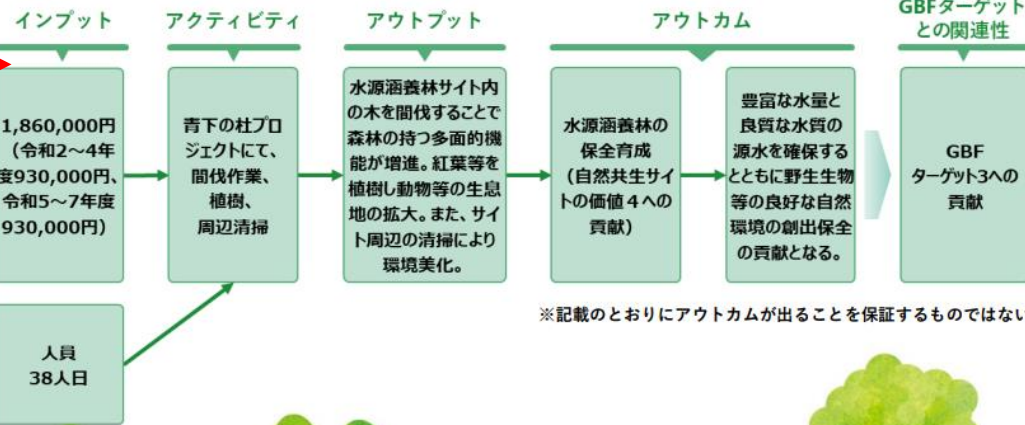
金銭的支援：1,860,000円（令和2～4年度930,000円、令和5～7年度930,000円）
人的支援：人員38人日
※支援証明書発行時点で1,860,000円中、1,550,000円確認

アクティビティ

青下の杜プロジェクトにて、間伐作業、植樹、周辺清掃

支援実施日（支援期間）

金銭的支援：令和2年4月1日～令和8年3月31日
人的支援：令和3年11月27日、令和4年6月11日、令和4年10月29日、令和5年5月27日、令和5年9月30日



地域の守り・育てたい自然や、目標を見てみよう！

国際目標であるネイチャーポジティブの実現・30by30目標の達成に向けては、地域の守り・育てたい自然を保全することが重要です。気になる地域を確認してみましょう。

*ネイチャーポジティブ：2030年までに自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させること
*30by30目標：2030年までに陸と海の30%以上を保全する目標



生物多様性情報を見る

保護地域、自然共生サイト、生物多様性保全上重要な場所等を確認できます。

詳しく見る



自治体毎の保全状況・目標を見る

自治体における保全状況や、目標などを確認できます。

詳しく見る



生物分布・生物種リストを見る

いきものログのデータを利用し、生物分布を検索したり、地域の生物種リストを確認できます。

詳しく見る

生物多様性情報を見る

保護地域、自然共生サイト、生物多様性保全上重要な場所等を確認できます。

自治体毎の保全状況・目標を見る

自治体における保全状況や、目標などを確認できます。

生物分布・生物種リストを見る

「いきものログ」のデータを利用し、生物分布を検索したり、地域の生物種リストを確認できます。

自然共生サイト検索ナビと申請補助ツール



自然共生サイト検索ナビ

この検索ナビでは、「自然共生サイト」の場所や取組等が地図上で確認できます。「自然共生サイト」とは、民間等によって生物多様性の保全活動が行われている場所です。

活用方法の例

- お近くのサイトを探してみる。
- 活動の支援先を探している方は、支援するサイトの候補を検討する。
- 既に活動を実施されている方は、類似の取組を持つサイトの取組を参考にする。

自然共生サイト検索ナビ

申請補助ツール

生物多様性の価値を確認

自然共生サイトに申請する上で大切な目標となる「生物多様性の価値」を確認するための参考情報を確認できます。

活動手法を検索

生物多様性を保全・回復する手法に関するガイドラインを検索できます。活動区域の特徴や課題に沿った活動手法を探してみましょう。

自然共生サイト検索ナビ

自然共生サイトの場所や取組が検索できます。

使い方の例

- 気になる自治体の自然共生サイトを探してみる。
- 生物多様性の価値、面積等を入力し、自分のサイトと似ているサイトの状況や活動内容を参考にする。
- 活動の支援先を探している方は、支援するサイトの候補を検討する。

生物多様性の価値を確認

その場所の生物多様性の価値情報を表示・出力し、自然共生サイト申請等に活用できます。

活動手法を検索

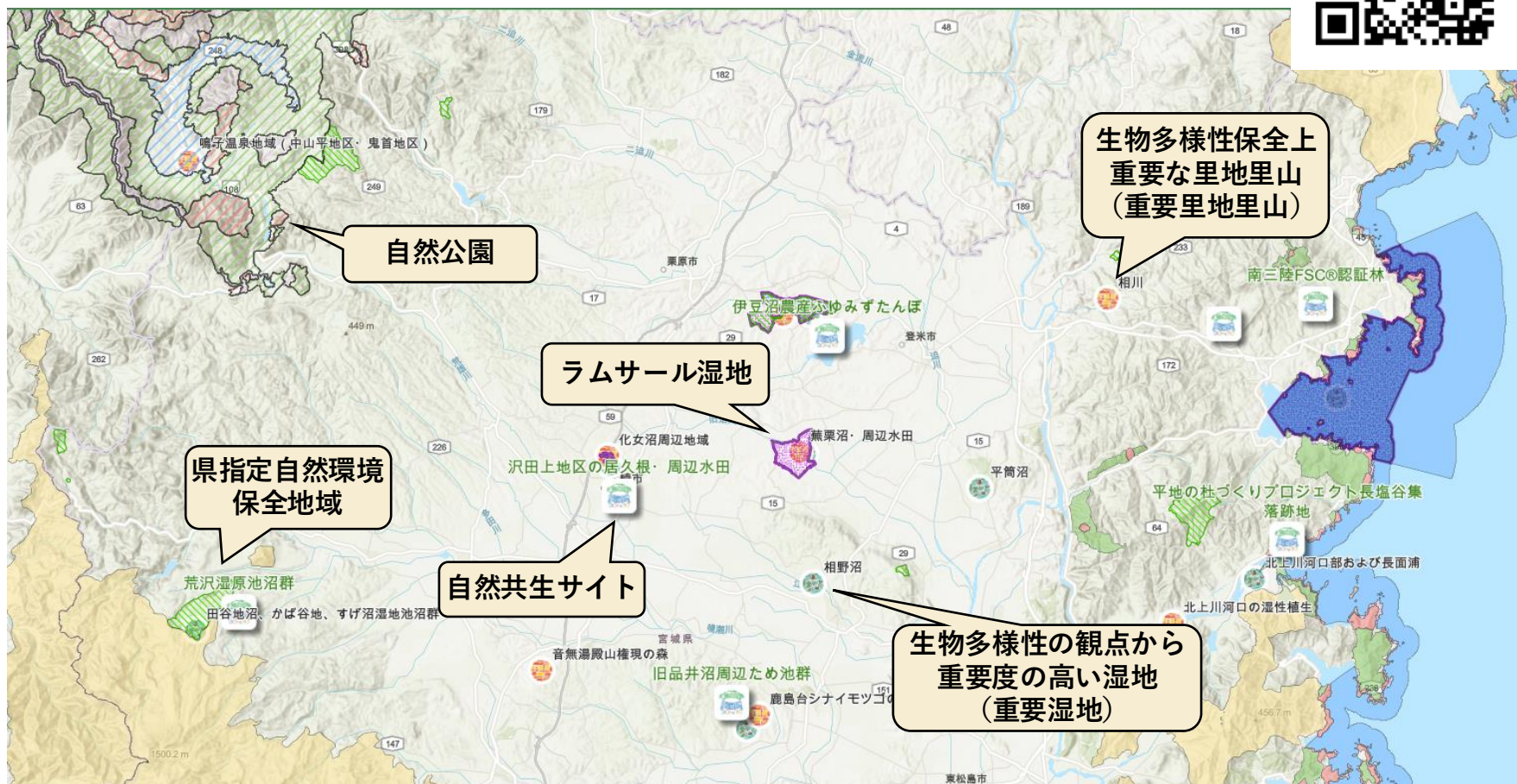
生物多様性を保全・回復する手法に関するガイドライン等を検索できます。

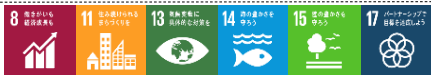
生物多様性情報を見る（生物多様性マップ）

全国の保護地域、自然共生サイト、生物多様性保全上重要な場所等が一目で分かります。



宮城県北部の例





2030年ネイチャーポジティブ達成に向けて、地域における生物多様性の保全・再生に資する取組を支援します

1. 事業目的

- ① 「昆明・モンリオール生物多様性枠組」で盛り込まれたネイチャーポジティブや30by30等の新たな世界目標の確実な達成と各地域での世界目標達成の具体的な指針となる生物多様性地域戦略で設定された目標を達成するため、地域における生物多様性の保全・再生に資する活動を支援し、国土全体の生物多様性の保全・再生を推進する。
- ② 各地域の取組を支援だけでなく、自立化を促進する。

2. 事業内容

- ・「地域生物多様性増進法（令和7年施行）」「生物多様性国家戦略2023-2030（令和5年閣議決定）」において、地方公共団体や事業者、民間団体、地域住民等の多様な主体の連携・協働による活動の促進が必要とされている。
- ・法に基づく指定種や保護地域に係る取組、法定計画の策定とそれに基づく取組等、国としても促進すべき下記事業を地域が行う場合に、短期的に支援。

- ① 生物多様性増進活動の基盤整備（交付率1/2、原則2年）
- ② 生物多様性増進活動の活動基盤強化（定額:上限150万円、原則2年）
- ③ 重要地域の保全・再生（交付率1/2、原則2年）
- ④ 動植物園等による生息域外保全（定額:上限200万円、原則3年）
- ⑤ 国内希少種の生息環境改善（定額:上限250万円又は上限150万円、原則3年）
- ⑥ 重要里地里山等における社会経済的課題と環境的課題を統合的に解決しようとする活動（交付率1/2、原則2年）

3. 事業スキーム

- 事業形態 間接交付事業（交付率3/4、1/2又は定額）
- 交付対象 非営利団体、地方公共団体、民間事業者 等
- 実施期間 平成20年度～

4. 活用事例

事例1 出雲・雲南地域広域連携生態系ネットワーク推進事業（R1～R3）（島根県出雲市・雲南市）

コウノトリやトキと共に生きる持続可能な地域の実現に向けて、出雲・雲南地域生物多様性連携保全活動計画を作成し、環境づくりや普及啓発活動等を実施。

事例2 フサゲルカミ切の住み続ける草原の生息環境保全（H30～R2）（岡山県真庭市）

日本固有種で生息地が極めて限られる草原性の希少昆虫「フサゲルカミ切」の生息環境維持・改善（火入れ等）。



事例3 三井樂ふるさと景観の椿林・円畑・スケアン再生で地産品ブランド化事業（R3～R5）（長崎県五島市）

放棄された円畑（まるはた）、椿林等を再生し、生物多様性の復元と併せて円畑で栽培したサツマイモをカンコ餅及び周辺椿林からの椿油を「五島の円畑」としてブランド化。

自然共生サイト認定・活動の自走化に向けた財政支援（令和7年度主な拡充内容）

- ネイチャーポジティブの推進に向け、自然共生サイトの **（１）認定を目指す**、又は **（２）活動の継続・強化による質の向上や自走化を目指す民間団体等への支援を拡充**
 【交付対象：民間団体単独でも申請可能、交付率：（１）1/2以内、（２）定額150万円、事業期間：原則2年以内】
- 自然共生サイトにおける **（６）環境的課題と社会的課題の統合的な解決を目指す活動**について引き続き支援

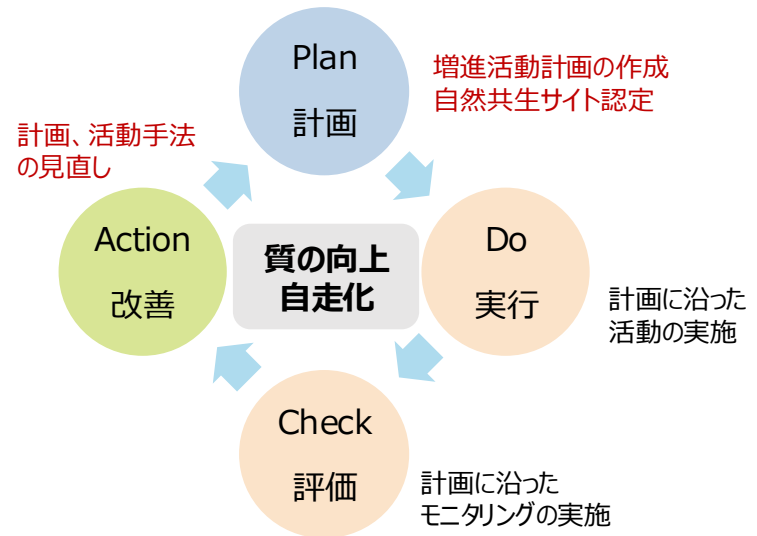
自然共生サイトの認定～質の向上・活動の自走化へ

（１）生物多様性増進活動基盤整備

Plan

自然共生サイトの認定に必要な**増進活動計画の作成（活動地域の状況把握や生物調査、目標設定、モニタリング計画立案）**など初期段階の金銭的負担の大きい活動を支援

- ① 現況・土地利用の把握、生物調査の実施、実施区域の設定
- ② 生物多様性保全の目標（維持、回復、創出）の設定
- ③ 目標達成に必要な活動の設定、活動効果を把握するモニタリング手法の設定
- ④ 目標達成のための適切な期間、時期、体制の設定



（２）生物多様性増進活動実施強化

Action

保全活動の実施・モニタリングを通じ、**当初予定していた活動をより効果的にするための調査や自走化のための取組**等を支援

- ① 生物調査
- ② 有識者へのヒアリングを踏まえた対応
- ③ 新たな目標、活動手法の設定
- ④ ネットワーキング（地域連携）の構築、強化

※本メニューは**自然共生サイトでの取組をより向上させる活動**が交付対象。

（６）里山未来拠点形成支援

Do

Check

生物多様性の保全活動に加え、**社会的課題の解決に取り組む、事業の持続性を確保する活動**を支援

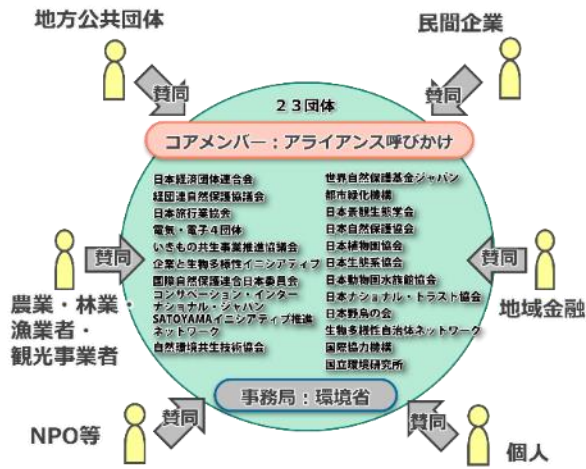
- ① 自然資源を活用した地域振興（商品開発、エコツアー等）により保全活動に必要な資金を確保
- ② 保全活動の後継者不足を解決するために人材育成を実施 など

※本メニューは**地方公共団体等とその他の主体で構成する協議会**が交付対象。

生物多様性のための30by30アライアンス

30by30をみんなで進めていくための有志連合

- 環境省を含めた産民官23団体をコアメンバーとする「**生物多様性のための30by30アライアンス**」を2022年4月に発足。企業、自治体、NPO法人等、計**1167**者が参加。
(2025年12月9日現在)
- 自らの所有地や所管地内のOECM登録や保護地域の拡大を目指す／そうした取組を応援するなど、**30by30の実現に向けた行動をとる仲間たちの集まり**。
(自治体：宮城県、新潟県、兵庫県豊岡市など)
(企業：トヨタ、イオン、パナソニックなど)
(NPO等：里山生物多様性プロジェクト、北海道大学など)



30by30アライアンスサイト

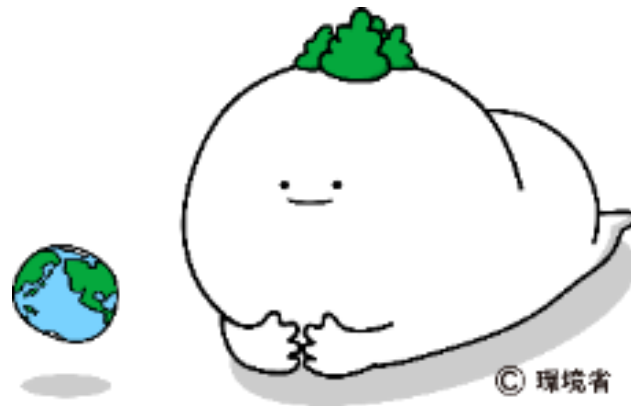
- ・参加者一覧を掲載
- ・自らの取組を掲載可能
- ・将来的にはマッチング機能も検討



30by30アライアンスロゴ

モチーフとしてカエルを採用し、その中に森や海といった自然やそこに住むいきもの、さらには都市や舟など人々の生業を配置。
カエルの体部分（上部）は森林など陸域をイメージした緑基調の和紙、顔の部分（下段）は、海や川など水域をイメージした青基調の和紙で表現。

生物多様性の価値が高い場所を可視化し、
共通認識の元で価値を高める活動を後押しするのが
自然共生サイトを増やしていく意義だと思っています。
引き続きご協力よろしくお願いします。



「ネイチャーポジティブ」イメージキャラクター

だいだらポジー

DAIDARAPOSIE

ご清聴ありがとうございました